

日本教育方法学会 第36回大会プログラム

《大会日程》

第 一 日 9 月 30 日・土	9 : 30	課 題 研 究 I 授業研究の方法論を問い直す			課 題 研 究 II インターネットは授業における 学びをどう深めるか		
	11 : 30						
	11 : 40						
	12 : 30	総 会					
	13 : 30	休 (昼食) 憩					
	15 : 40	自由研究 1	自由研究 2	自由研究 3	自由研究 4	自由研究 5	
	15 : 50						
	18 : 20	シ ン ポ ジ ウ ム いま、子どもにどんな力をつけるのか ー学力低下問題と「総合的な学習」の課題ー					
	18 : 30						
	20 : 00	会 員 憩 親 会					

第 二 日 10 月 1 日・日	9：30	自由研究 6	自由研究 7	自由研究 8	自由研究 9	自由研究 10	自由研究 11
	12：00	休（新理事会／昼食）憩					
	13：00	課 題 研 究 III 子どもの関係性の希薄化を克服する 参加型学校づくり ー子どもの参加による 教育活動の編成と展開ー			課 題 研 究 IV 20世紀の教育方法研究の 評価と継承		
	15：00						

2000年 9 月30日(土)・10月 1 日(日)

於 北海道教育大学札幌校

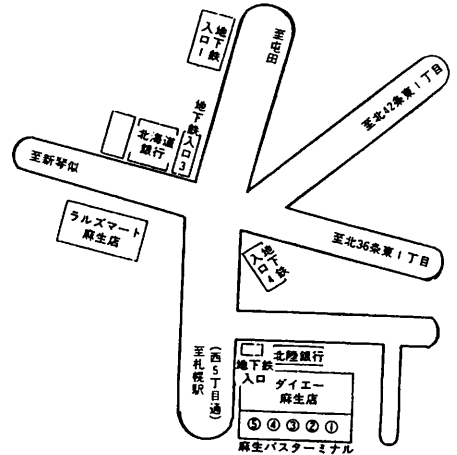
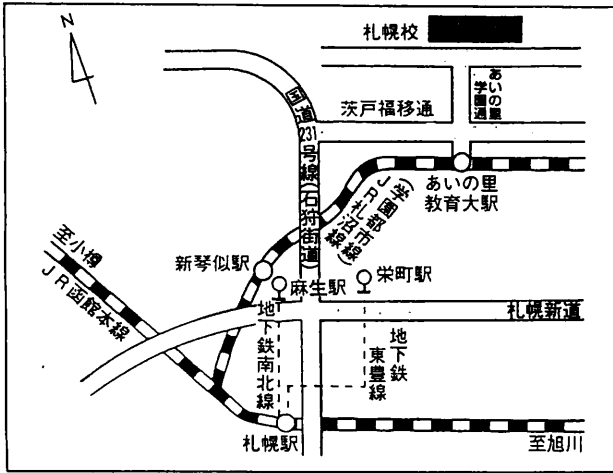
大会参加要領

1. 会場案内：会場は、北海道教育大学札幌校です。会場への経路につきましては、次頁をご参照ください。
2. 受付：大会第1日目(9月30日・土)は8:30, 第2日(10月1日・日)は9:00からです。
受付は1階ホールで行います。
 - ・大会参加費(発表要旨集録代を含む)は、一般会員3,500円, 学生会員2,500円です。
 - ・当日会員(臨時会員)もこれに準じて受け付けております。
 - ・本年度までの学会費(一般会員8,000円, 学生会員6,000円)を未納の方は、あわせてお納めください。
 - ・本年度の学会費を納入された方には、受付にて『教育方法29』をお渡しします。
 - ・会員懇親会の参加受付も行いますので、ふるってご参加ください。詳しくは、11頁の「インフォメーション」をごらんください。
 - ・受付にてネームプレートを用意しておりますので、お名前をお書きのうえ、おつけください。
3. 昼食：土日ですが、学内の生協食堂に営業していただきますので、ご利用ください。
4. 研究発表：発表会場につきましては、4頁の「教育学部講義室配置図」をごらんください。
 - ・自由研究の発表時間は、以下の通りです。
個人研究：発表20分 質疑10分
共同研究：発表30分 質疑10分
(但し、口頭発表者が1名の場合は、個人研究に準じます。)
 - ・本プログラムに記載されているコーディネーターおよび司会者、提案者の氏名は、五十音順です。
 - ・自由研究における共同研究発表者の氏名は、「発表申込用紙」に記入された順序によります。また、○印は口頭発表者です。
5. 会場校連絡先：〒002-8501 札幌市北区あいの里5条3丁目1番3号 北海道教育大学札幌校

なお、大会に関するお問い合わせは、学会事務局(TEL.0824-24-6744)にお願いいたします。

<北海道教育大学札幌校案内図>

【大学周辺の地図】



<図1>
地下鉄・バス乗りかえ図

【会場への主要経路】

- 札幌駅周辺と北海道教育大学札幌校を結ぶ交通手段は、(1)地下鉄・バス、(2)JR・徒歩のいずれかをお選びください。なお、バスは教育大学前まで来ますので、徒歩を避けたい方には、地下鉄・バスをお薦めします。
- (1)地下鉄・バス
 - ①地下鉄<南北線>「麻生ゆき」に札幌駅で乗車、終点麻生駅で下車してください。乗車券は、340円の「乗り継ぎ乗車券」をお求めください。「乗り継ぎ乗車券」は降車後の検札機通過後も携帯してください。
 - ②・中央バス<麻24あいの里教育大線>「あいの里4の1ゆき」に乗りかえます。乗車停留所は「麻生バスターミナル」、降車停留所は「教育大前」です。
9月30日(土)、10月1日(日)の両日は、大会の開始時間にあわせて、「麻生バスターミナル」8:50発の臨時便を運行します。(表1)
 - ・乗りかえは、やや距離もあり、路上にはバス停もたくさんありますので、地下鉄コンコースの案内表示を参照するなど、お間違えないようお願いいたします。(図1)
 - ・臨時便の発車レーンは通常の発車レーンではなく、スクールバスのレーンを使用しますのでご注意ください。案内を表示します。なお、通常便は、③のりば(北レーン)から発車します。
 - ・乗車料金は、降車時に「乗り継ぎ乗車券」と一緒に、30円を料金箱に投入してください。
 - ③帰りは、この逆となりますが、バス内(降車時)で、320円の「乗り継ぎ乗車券」を購入してください。その券で地下鉄に乗り換えます。降車駅が札幌駅であれば、降車後、精算機に50円を投入して精算券を求め、検札してください。
 - ④9月30日は、懇親会出席者の帰りの便として、「教育大学前」20:10発の便を増発します。ご利用ください。(表1)
- (2)JR・徒歩
 - ①JR<学園都市線(札幌線)>下りに札幌駅で乗車、あいの里教育大駅で下車してください。大会開始時間にむけては、札幌駅8:30発の便が適当です。(表2)
 - ②あいの里教育大駅から北海道教育大学までは、徒歩(20分)か、タクシーを利用するかしてください。ただし、タクシーは台数にかぎりがあります。

(表1) 麻24 あいの里教育大線時刻表

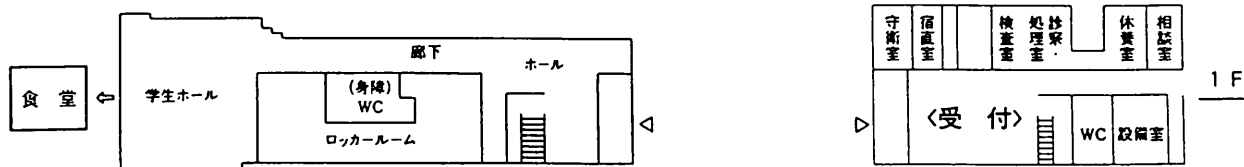
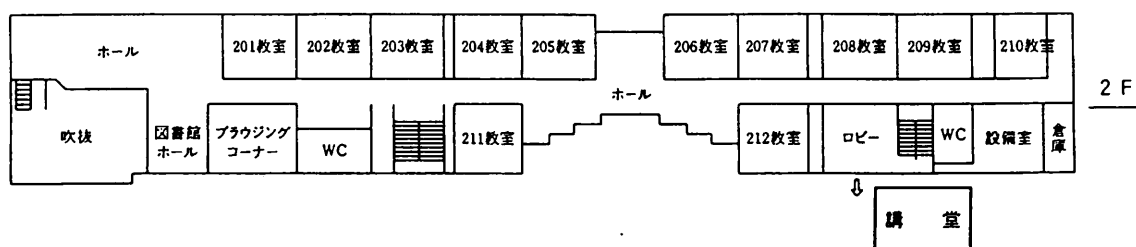
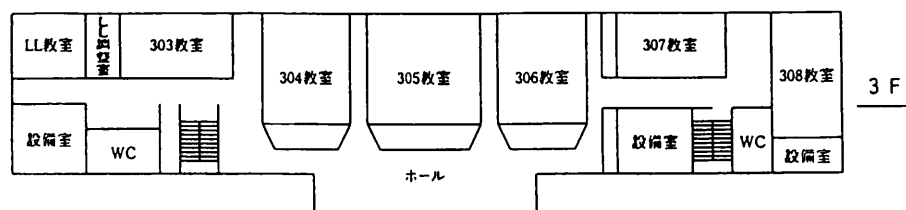
	麻生バスターミナル あいの里4の1	あいの里4の1 麻生バスターミナル
6時		45
7時	40	10 30 50
8時	20 50	10 30 50
9時	15 35 55	10 30 50
10時	15 35 55	10 30 50
11時	15 35 55	10 30 50
12時	15 35 55	10 30 50
13時	15 35 55	10 30 50
14時	15 35 55	10 30 50
15時	15 35 55	10 30 50
16時	25 40 55	10 30 50
17時	25 40 55	20 50
18時	25 40 55	10
19時	10 30 50	10
20時	20 50	10
21時	20 50	10
22時	20 50	

* 太字が増発する便です。
** あいの里4条1丁目では教育大前に近接していますので、表の発車時刻は教育大前発車時刻とお考えください。

(表2) JR学園都市線時刻表

	(あいの里方面行き)			(札幌行き)	
	札幌	札幌	札幌	あいの里教育大	あいの里教育大
6時	18	42		14	42
7時	04	21	41	17	28 38 48 58
8時	00	12	30 55	11	29 55
9時	28	58		13	40
10時	19	43		08	23 43
11時	04	19	37	07	23 41
12時	04	24	44	01	19 43
13時	04	19	37	04	22 48
14時	04	19	36	03	22 39 58
15時	01	21	43	35	
16時	01	19	38	02	15 27 43
17時	03	19	46	03	24 46
18時	01	19	37	04	29 41
19時	03	19	44	04	42
20時	03	21	47	18	45
21時	26	57		20	36
22時	24	58		00	20 57

＜教育学部講義室配置図＞



会場配置

- ・シンポジウム：講堂
- ・総 会：講堂
- ・課題研究Ⅰ・Ⅲ：305講義室
- ・課題研究Ⅱ・Ⅳ：306講義室
- ・自由研究Ⅰ・Ⅵ：304講義室
- ・自由研究Ⅱ・Ⅶ：305講義室
- ・自由研究Ⅲ・Ⅷ：306講義室
- ・自由研究Ⅳ・Ⅸ：307講義室
- ・自由研究Ⅴ・Ⅹ：308講義室
- ・自由研究Ⅺ：203講義室
- ・会 員 懇 親 会：食堂
- ・新 理 事 会：第一会議室
- ・会 員 控 室：206, 207講義室
- ・大 会 事 務 局：208講義室

※昼食は、食堂（生協）を、メニュー限定ですが、ご利用いただけます。

課題研究Ⅰ

授業研究の方法論を問い直す

(305講義室)

司会者・コーディネーター

天野正輝(京都大学)

土井捷三(神戸大学)

提案者

澤本和子(日本女子大学) 教師成長論から授業研究方法論を問い直す

—教師の成長のための〈授業リフレクション研究〉からの考察— …19

白石陽一(熊本大学) 授業論そのものが問われている ……20

山住勝広(大阪教育大学) 学校コミュニティは自らの未来のためにどう学ぶか

—活動理論から授業研究へのアプローチ ……21

(コーディネーターによる設定趣旨)

研究対象の拡大(たとえば総合的な学習を授業研究に位置づけることなど)と授業をめぐる問題状況は、授業研究の方法論の問い直しを求めているように思われる。

1. 「問い直す」必要があるとすれば、その理由は何か
2. 「問い直し」方は、まったく新しい視点、方法の導入が必要だというのか。視点・方法の変革ではないとすれば、何が問題だというのか。

以上2点を中心に、三者それぞれの立場から提起していただく。この提言を受けて、参加者からのご意見を頂き、活発な論議の展開を期待したい。

9月30日(土) 9:30~11:30

課題研究Ⅱ

インターネットは授業における学びをどう深めるか

(306講義室)

司会者・コーディネーター

水越敏行(関西大学)

渡邊光雄(筑波大学)

提案者

木原俊行(大阪市立大学) インターネットによる学校と社会の取り組みの融合
—総合的な学習における参加・貢献活動の促進— …22

佐藤善一(女子美術大学) インターネットによる画像処理と学びの創造
—短大におけるファッション教育の実例を通して— …23

山崎正吉(北海道教育大学) 総合的な学習におけるインターネットによる学び ……24

(コーディネーターによる設定趣旨)

インターネットが私たちの学びを、コミュニケーションを、生活そのものを変えつつある。学校や家庭で使っているパソコンが、インターネットにつながることによって、共同学習、情報の発信、サーチエンジンでの情報検索、画像データ処理などが、いつでも、どこでも、誰にでも可能になってきた。このことは、教室という閉じた空間での教授と学習、一斉授業を前提にした授業のあり方を根本からゆさぶる、新しい学びの形態や場の創造を要請してくる。

小学校から大学に至るまで、今起こりつつある新しい学びの姿、その可能性や問題点を具体的に提起し、議論を展開していきたい。

9月30日(土) 午後

自由研究 1

(304講義室)

司会者 水内 宏(千葉大学)
諸岡 康哉(金沢大学)

- 13:30 ① 授業における「経験」と「学び」25
○竹内 元(広島大学大学院)
- 14:00 ② 子どもと学習対象の関係に関する一考察
ー「総合的な学習」に焦点を当ててー26
○田上 哲(近畿大学九州短期大学)
- 14:30 ③ 授業記録の資料化の方策27
○三橋 功一(北海道教育大学)
- 15:00 ④ 看護教育の効果的な授業研究
ー実技学習における「注視」行為等の効果に着目してー28
○中村 亨(西南女学院大学)
○吉田 あや子(西南女学院大学)
○杉谷 修一(西南女学院大学)

自由研究 2

(305講義室)

司会者 市川 博(横浜国立大学)
小泉 祥一(東北大学)

- 13:30 ① 教授・学習過程におけるカリキュラム開発
ー武田常夫の授業実践の分析を通してー29
○姫野 完治(大阪大学大学院)
井上 光洋(大阪大学)
- 14:00 ② 学社融合型教育プログラムの実践的試み
ー野外教育の場合ー30
○城後 豊(北海道教育大学)
水谷 豊(桐朋学園大学短期大学部)
稲垣 良介(岐阜県釜戸中学校)
- 14:30 ③ 「生き方」に関する校種間連携のカリキュラム開発(その1)31
○林 尚示(山梨大学)
進藤 聡彦(山梨大学)
- 15:00 ④ 中学校カリキュラムの動向分析
ー総合的学習・選択学習・情報教育の視点からー32
○寺嶋 浩介(関西大学大学院)
○中橋 雄(関西大学大学院)
水越 敏行(関西大学)

自由研究 3

(306講義室)

司会者 杉山明男(吉備国際大学)
三橋謙一郎(徳島文理大学)

- 13:30 ① 「総合的な学習の時間」の評価に関する一考察33
○斎藤 等(東京学芸大学大学院)
- 14:00 ② ポートフォリオを用いた開発教育・グローバル教育における評価
－「総合的な学習」の単元開発を通して－34
○高野 剛彦(兵庫教育大学大学院)
- 14:30 ③ 授業研究の方法論的課題
－方法と方法論－35
○宮坂 義彦(ノートルダム清心女子大学)
- 15:00 ④ 授業観察における観察視点と分析視点36
○的場 正美(名古屋大学)
○石原 正敬(名古屋大学大学院)
○林 憲子(名古屋大学大学院)
○北島 信子(名古屋大学大学院)

自由研究 4

(307講義室)

司会者 高田 清(福岡教育大学)
山口 満(筑波大学)

- 13:30 ① 大正期における修身科独立論と児童中心主義
－小原國芳の修身科教授論を中心として－37
○佐藤 高樹(東北大学大学院)
- 14:00 ② 戦後特別活動論の構造と特質
－戦後初期の「ホームルーム」に着目して－38
○山岸 知幸(広島大学研究生)
- 14:30 ③ 棚橋源太郎「生徒実験」論の展開過程に関する研究
－「生徒実験」の実践化にみる子どもの自己活動と教師の指導性の関係－ ...39
○岩崎 紀子(京都大学大学院)
- 15:00 ④ 化学嫌いの改善の試み
－擬人化・ゲーム化教材の効果－40
○佐藤 康司(盛岡大学)

9月30日(土) 午後

自由研究 5

(308講義室)

司会者 日 比 裕 (東海学園女子短期大学)
湯 浅 恭 正 (香 川 大 学)

- 13:30 ① オープンスクール卒業生の追跡調査
ー学習環境に着目した調査結果の分析ー41
○佐 野 亮 子 (上 智 大 学 大 学 院)
- 14:00 ② 「むかつく」子どもの身体に関する研究
ー身体の抽象化, モデル化の視点からー42
○石 川 治 久 (早 稲 田 大 学 大 学 院)
- 14:30 ③ H. ワロンの臨床的アプローチに関する一考察
ー「おじけ (timidité)」の発見とその今日的意義ー43
○大 本 紀 子 (広 島 大 学 大 学 院)
- 15:00 ④ フランスの初等学校での市民教育についての一考察44
○井 上 誠 子 (四 国 大 学)

9月30日(土) 15:50~18:20

シンポジウム

いま、子どもにどんな力をつけるのか
—学力低下問題と「総合的な学習」の課題—

(講 堂)

司会者

柴 田 義 松 (東京大学名誉教授)

三 上 勝 夫 (北海道教育大学)

提案者

安 彦 忠 彦 (名古屋大学) 子どもの可塑性の豊かさに即したバランスある力と
自己制御能力45

小 川 博 久 (日本女子大学) 総合学習において求められる“学力”とは何か46

佐 藤 広 也 (札幌市立三角山小学校) 総合的な学習は名探偵で
オンリーコネクトとフーダニットの地平47

須 田 勝 彦 (北海道大学) 数学教育における基礎・基本48

(設定趣旨)

学校完全週五日制の実施に対応する新学習指導要領が告示された。「総合的な学習の時間」の新設もあって各教科の授業時数が大幅に削減され、教育内容もそれに合わせて縮減されることが分かるや、小・中・高校の教師・教育研究者だけでなく、大学、特に数学・自然科学の学会関係者の間からも学力低下を憂慮する声が卒然とわき起こっている。新学習指導要領の特徴と問題点については昨年の本大会シンポジウムでも論議されたが、この学力低下問題と新設の「総合的な学習」の実践的課題を中心に、あらためて教育方法学研究の立場から、これからの学校教育の課題、「いま、子どもにどんな力をつけるのか」を論議してみたい。参加者の多様な角度からの提案と活発な論議の展開を期待したい。

インフォメーション

●会員総会

日 時 : 第1日(9月30日・土) 11:40~12:30

会 場 : 講 堂

主な議題 : 会務報告

1999年度決算

2001年度予算案

次期大会校

昼食・休憩前ですが、ぜひとも多数ご参集ください。

●会員懇親会

日 時 : 第1日(9月30日・土) 18:30から

会 場 : 食 堂

会 費 : 3,000円程度

会員相互の親睦をはかるため、懇親会を開きます。多数の会員のみなさまのご参加をお願いいたします。

●書籍販売について

学会事務局では、受付にて学会機関誌『教育方法』、研究紀要『教育方法学研究』の最新刊およびバックナンバーを、大会割引価格で販売いたします。この機会にぜひお求めください。

また、本大会の『発表要旨集録』を別途希望される方には、1冊800円にて頒布いたします。

なお、『教育方法』最新刊(第29巻)は、本年度の学会費を納入された方には、受付の際にお渡しいたします。(大会以降に学会費を納入された方には、随時お手元に郵送させていただきます。)

自由研究 6

(304講義室)

司会者 大槻和夫(安田女子大学)
奥平康照(和光大学)

- 9:30 ① 子どもの作文における生活表現の変容過程49
○北島信子(名古屋大学大学院)
- 10:00 ② 識字教育における批判的意識の形成50
○黒谷和志(広島大学大学院)
- 10:30 ③ ホールランゲージ運動のビックブックにヒントを得た読み方指導の試み ...51
○渡辺 聡(北海道教育大学大学院)
- 11:00 ④ 物語共同体による授業改革
ー批判的識字(critical literacy)から創造的識字(creative literacy)へー ...52
○庄井良信(広島女子大学)
- 11:30 ⑤ 教育方法における文字言語(literacy)と
音声言語(orality)の問題に関する一考察53
○中野和光(福岡教育大学)

自由研究 7

(305講義室)

司会者 碓井岑夫(和歌山大学)
中村 亨(西南女学院大学)

- 9:30 ① ドラマティック・プレイからクリエイティブ・ドラマへの
移行過程における教師の指導法について
ーボルトン, G. の解釈を中心にー54
○佐野美奈(広島大学大学院)
- 10:00 ② 音楽科教育における思考力育成のプロセス
ー発達のネットワークモデルを視点としてー55
○岡本 信一(兵庫教育大学連合大学院)
- 10:30 ③ 家庭科における福祉教育の試み
ー生活の視点にたつ授業実践ー56
○河村 美穂(早稲田大学大学院)
- 11:00 ④ Narrative Analysis による授業分析
ー小幡肇「気になる木のはっぱをふやそう〜
阪神大震災大研究〜」の授業分析ー57
○森脇健夫(三重大学)
- 11:30 ⑤ 震災体験に学ぶ防災教育への取り組み
ー授業であらわれた「フラッシュバック現象」についてー58
○土井捷三(神戸大学)

自由研究 8

(306講義室)

司会者 庄 司 他人男(福 島 大 学)
若 原 直 樹(北 海 道 教 育 大 学)

- 9:30 ① 常用漢字の中学校教育課程に関する考察 一指導漢字精選の試みー ……59
○矢 部 玲 子(札幌国際大学非常勤)
- 10:00 ② 幼児の遊びに於けるモノの形式的役割について 2
ー「生活」に於けるモノとのかかわりによって育まれる「身体的文脈」ー ……60
○根 津 明 子(國學院大學幼児教育専門学校)
- 10:30 ③ 自主学習の授業における教師の養育的行為
ー教師の行為の解釈可能性と意味生成ー ……61
○本 山 方 子(お茶の水女子大学大学院)
- 11:00 ④ 教師の専門性と総合学習 ー国語科を中心にー ……62
○麻 生 信 子(筑紫女学園大学非常勤)
- 11:30 ⑤ 授業改革と教師の成長
ー教師の実践的知識と総合的学習に関する理論的知識の関連を中心にー ……63
○藤 原 顕(兵庫県立看護大学)

自由研究 9

(307講義室)

司会者 岩 垣 攝(千 葉 大 学)
的 場 正 美(名 古 屋 大 学)

- 9:30 ① 教授学研究における構成主義の位置と課題
ードイツにおける受容過程を中心にー ……64
○高 木 啓(広島大学大学院)
- 10:00 ② 教室談話の成立機制
ー行為-ローカルな文化-制度的装置の相互関連に着目してー ……65
○藤 江 康 彦(東京大学大学院研究生)
- 10:30 ③ H. マイヤーにおける行為モデルによる授業構想 ……66
○宮 原 順 寛(長 崎 県 立 大 学)
- 11:00 ④ 子どもと一緒に共につくる総合カリキュラム
ー拡張による総合学習活動(EILA)への発達のワークリサーチー ……67
○山 住 勝 広(大阪教育大学)
保 坂 裕 子(京都大学大学院)
- 11:30 ⑤ 教育実践記録と内部観測 ……68
○高 田 清(福岡教育大学)

自由研究10

(308講義室)

司会者 寺 尾 慎 一 (福 岡 教 育 大 学)
山 田 昇 (奈 良 女 子 大 学 名 誉 教 授)

- 9 : 30 ① 教育研究としての学力論, その意味と可能性
ー学力に集団的契機を位置づける試みー69
○海 野 勇 三 (山 口 大 学)
黒 川 哲 也 (山 口 大 学 非 常 勤)
- 10 : 00 ② 「子ども主体の授業」をめぐる一考察 ー総合学習実践にむけてー70
○木 下 いずみ (川 崎 市 立 野 川 小 学 校)
- 10 : 30 ③ 「総合的な学習の時間」と「学力問題」71
○山 崎 雄 介 (光 華 女 子 大 学 短 期 大 学 部)
- 11 : 00 ④ 大正・昭和初期における「合科学習」の研究(4)山路兵一の合科学習実践
ー「遊びの善導」から「仕事」への授業組織論を中心にー72
○前 田 賢 次 (北 海 道 教 育 大 学)
- 11 : 30 ⑤ 伊那小学校の総合学習・総合活動に関する研究(その1)
ー学習過程の開始期における子どもの
興味・関心の発現と教師の関与を中心にー73
○佐 藤 年 明 (三 重 大 学)

自由研究11

(203講義室)

司会者 鈴 木 秀 一 (札 幌 自 由 が 丘 学 園)
藤 原 幸 男 (琉 球 大 学)

- 9 : 30 ① 討論力育成の教材開発に関する実証的研究ー授業書の作成と評価をととしてー...74
○成 田 洋 子 (青 森 県 看護 指 導 者 実 習 講 師)
- 10 : 00 ② 概念形成に及ぼす How to 型発問の効果ー動物概念形成を例にー75
○斎 藤 裕 (県 立 新 潟 女 子 短 期 大 学)
- 10 : 30 ③ 子どもの多様な思考にもとづく算数授業の効果76
○藤 村 宣 之 (埼 玉 大 学)
- 11 : 00 ④ 分数の教育内容・教材構成に関する実験的研究(1)
ー授業書「新しい数ー分数(改訂版)」とその解説ー77
○岡 野 勉 (新 潟 大 学)
○大 田 邦 郎 (千 葉 大 学)
山 川 健 太 郎 (新 潟 大 学 大 学 院)
神 戸 康 寿 (新 潟 大 学 大 学 院)
- 11 : 30 ⑤ 分数の教育内容・教材構成に関する実験的研究(2)
ー授業書「新しい数ー分数(改訂版)」による実験授業とその分析・評価ー ...78
岡 野 勉 (新 潟 大 学)
大 田 邦 郎 (千 葉 大 学)
○山 川 健 太 郎 (新 潟 大 学 大 学 院)
○神 戸 康 寿 (新 潟 大 学 大 学 院)

課題研究Ⅲ

子どもの関係性の希薄化を克服する参加型学校づくり
ー子どもの参加による教育活動の編成と展開ー

(305講義室)

司会者

住野 好 久 (香 川 大 学)
富 田 充 保 (札幌学院大学)

コーディネーター

浅 野 誠 (中 京 大 学)
藤 田 昌 士 (帝京平成大学)

提案者

浅 野 誠 (中 京 大 学) 子ども参加型教育活動の編成79

子 安 潤 (愛知教育大学) 参加と民主主義80

(コーディネーターによる設定趣旨)

- ①日本の子どもたちの関係性の希薄化の進行が極度に進行しており、その関係性の形成を意図的にとりくまないと、教育活動の進行さえ危うい状況が一般化している。市場原理の教育界への一層の浸透を目指す新自由主義的な考え方からいえば、このことは問題ではなく、むしろ「目標」ですらあるかもしれないが。
- ②そこで、学校内外での子どもの関係性の形成、さらに子ども集団が重要なテーマとなる。そして、それは、子どもたち自身の積極的な活動によって形成される必要がある。その意味で、学校の諸活動における子どもの参加が重要となる。
- ③子どもの学校参加は、学校経営への参加というだけではなく、授業・教科外の諸活動を含めて、子どもたち自身の活動の展開の具体的な場における展開が中軸となる。その意味で、既製の授業形態や学校における活動の諸組織への、子どもの「適応」「順応」型ではない、子どもたちの発議・意見表明などを基盤にした、活動の展開、あるいは組織の形成が重要になる。そして、学校における教育課程の組み立て方に関わっての参加が重要となる。
- ④その意味では、焦点となっている「総合的な学習の時間」、およびそれにかかわるその他の授業、ボランティア活動などを含む教科外の諸活動における、子どもたちの発議・意見表明にもとづく、組織形成・活動立案といったものに、焦点をあてていく必要がある。
- ⑤それらのプロセスは、グローバルな視野をもちつつ、かつ社会の現実深くきりこむものであることが求められる。そして、権利と責任の原理にもとづくものであることが求められる。その意味で、グローバル・エデュケーションとか、人権教育・市民教育といった視点を日本の教育のなかに確立していく必要がある。
- ⑥以上の問題を、フロアとも十分に議論するために、提案者を2名とすることによって、その時間を確保したい。

10月1日(日) 13:00~15:00

課題研究Ⅳ

20世紀の教育方法研究の評価と継承

(306講義室)

コーディネーター・司会者

小田切 正 (北海道浅井学園大学)

豊田 ひさき (大阪市立大学)

提案者

折出 健二 (愛知教育大学) 子ども・若者における人間的自立のリアリティと
教育方法研究—生徒指導研究の立場から— ……………81

齋藤 勉 (新潟大学) ケアリングと探究を統合する学習活動 ……………82

中野 光 (前中央大学) 日本近代学校の矛盾超克への方法的挑戦 ……………83

(コーディネーターによる設定趣旨)

20世紀の教育方法学研究は、世界史的に見れば、デューイがシカゴ実験学校で教育方法の民主化のための実験を始めることでその後の幕が開けられ、わが国では、大正自由教育運動を契機に教育方法の民主化のための実践が拡大した。今日、わが国の若者の高等教育への進学率は50%を越えようとするまでに社会の学校化がすすみ、その流動化とともにまさに学習社会に突入している。21世紀を目前にして、近代学校システムが子どもや若者にもたらした功罪をわたしたちはどう総括すればよいのだろうか。

本課題研究では、この問題を、①大正自由教育の遺産を踏まえながら、悲惨な戦争体験を組み込んで、②戦後におけるアメリカのデューイ学派の実践過程をも視野に入れつつ、③今までは考えられない若者の犯罪が頻発している今日、その閉塞状態の中での子どもや若者のリアリティに迫ることを通して、教育方法学研究が担うべき緊急の課題に大胆に切り込んでみたい。

日本教育方法学会刊行書籍

教育方法12.	学級教授論と総合学習の探究	1982	(2,600円)
教育方法13.	いま授業で何が問われているか	1984	(2,400円)
教育方法14.	子どもの人間的自立と授業実践	1985	(2,800円)
教育方法15.	実践にとって教授学とは何か	1986	(品切れ)
教育方法16.	個性の開発と教師の力量	1987	(2,400円)
教育方法17.	教育方法を問い直す	1988	(2,900円)
教育方法18.	新教育課程と人間的感性の育成	1989	(1,942円)
教育方法19.	知育・徳育の構想と生活科の指導	1990	(1,709円)
教育方法20.	学校文化の創造と教育技術の課題	1991	(1,709円)
教育方法21.	自己学習能力の育成と授業の創造	1992	(品切れ)
教育方法22.	いま、授業成立の原則を問う	1993	(1,806円)
教育方法23.	新しい学力観と教育実践	1994	(1,806円)
教育方法24.	戦後教育方法研究を問い直す	1995	(2,806円)
教育方法25.	戦後50年、いま学校を問い直す	1996	(1,903円)
教育方法26.	新しい学校像と教育改革	1997	(1,800円)
教育方法27.	新しい学校・学級づくりと授業改革	1998	(1,960円)
教育方法28.	教育課程・方法の改革		
	—新学習指導要領の教育方法学的検討—	1999	(1,860円)
			(価格は税別)

〒170-0005

東京都豊島区南大塚2-39-5

明治図書

TEL.(編)03-3946-3151・3152

TEL.(営)048-256-1175

『教育方法』は、大会当日、会場にて大会割引価格にて販売いたします。

この機会に多数の方々のご購入をお願いいたします。

最新刊『教育方法29』より、図書文化から出版されることになりました。

最新刊・教育方法29

『総合的学習と教科の基礎・基本』

〈内 容〉

- I. 総合的学習をどう創るか
 - II. 教科の「基礎・基本」と学力保障
 - III. 総合的学習と学校・家庭・地域との連携
- 補. 教育方法学研究の研究動向

〒112-0012

東京都文京区大塚1-4-5

図書文化

TEL. 03-3943-2516